

第3回上天草市まち・ひと・しごと創生推進会議（議事要旨）

- 1 日時 平成27年10月20日（火）午後2時00分～午後4時20分
- 2 場所 上天草市役所大矢野庁舎 書庫棟2階会議室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議事次第
 - （1）開会
 - （2）上天草市人口ビジョン骨子（案）及び上天草市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）提示・協議・検討
 - （3）閉会
- 5 配布資料
 - 資料1 上天草市人口ビジョン骨子（案）
 - 資料2 上天草市まち・ひと・しごと総合戦略骨子（案）
- 6 議事概要

（1）開会

○事務局より、第3回会合の開会を宣言。構成員が数名欠席となるが出席者が過半数を超えるため、本会合が成立する旨を報告し、議事進行を座長に依頼。

（座長）

- ・みなさんこんにちは。本会合も3回目になって皆さんいい雰囲気になってきた。私は上天草市と南阿蘇村で総合計画の委員会に入っており、南阿蘇村は10月で計画が既にできている。しかし、市長が言われていたとおり、この計画は作れば良いという訳ではなく、実行することに意味があるので、上天草市の選択は正しかったと思っている。あと2か月かけて年内に実行力のある計画を作るというのが目標となる。その中でも夢を語ることも必要で上天草市じゃないとできないことをできるだけ反映した計画を作りたい。今日も第1回、第2回に勝るとも劣らないような楽しい会にしたい。
- ・それでは早速次第に従って議事を進行したい。まずは上天草市人口ビジョン骨子（案）と上天草市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）について、事務局から説明をお願いします。

(2) 上天草市人口ビジョン骨子（案）及び上天草市まち・ひと・しごと創生
総合戦略骨子（案）の提示・協議・検討

○事務局より資料1及び資料2について説明

（座長）

- ・資料1及び資料2の説明に対して御質問等がある方はいらっしゃいますか。

（特になし）

- ・資料2については、基本目標として「安定した魅力ある雇用を創出する」、「上天草市への人の流れをつくる」、「市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、安心して快適な暮らしを創出する」が4つ掲げてある。上天草市ではもう少しわかりやすくして「上天草市に来てもらう」、「上天草市に住んでもらう」、「上天草市で働いてもらう」としてあり、この3つは基本目標にそれぞれ振替えられるので非常に良いと思う。先程の説明にもあったとおり、2～4ページについては、皆さんに前回話していただいた内容が整理されている。これは皆さんが作った計画なので、総務省に対して文脈が合っていることを示す証拠ともなり、未来が感じられる良い案だと感じた。
- ・資料1については、人口ビジョンで悲観的に捉えると50年後には今の人口の約半分となるが、これをどうするのかというのはこれからの議論となるので、資料としては必要なものとなる。一点だけこの調査の中で、上天草市に住まれている方の平均居住年数を調べることはできるのか。

（事務局）

- ・住民の平均居住年数については即答できないので、確認をさせていただきたい。

（座長）

- ・なぜかという、上天草市は人の入替りが激しいのか、一度上天草市に住むと動かないのかということを知りたい。（上天草市に）住んでいる人がどんな方か、上天草市にはどんな人が多くいるのかがわかると計画が立てやすいので、3年、5年のサイクルが見れるといいと思う。
- ・では、早速ワークショップに入りたい。まず、前は6班に分かれて未来予想を考えていただいた。今上天草市で良い事、悪い事を考えて W×O や S×T を逆転の発想が必要だということでアイデアをいくつか出していただいた。
- ・前回の案はだいたい皆さん思い入れがあると思うので、それぞれの班に分かれていただいて、ブラッシュアップしてもらいたい。

(ワークショップ)

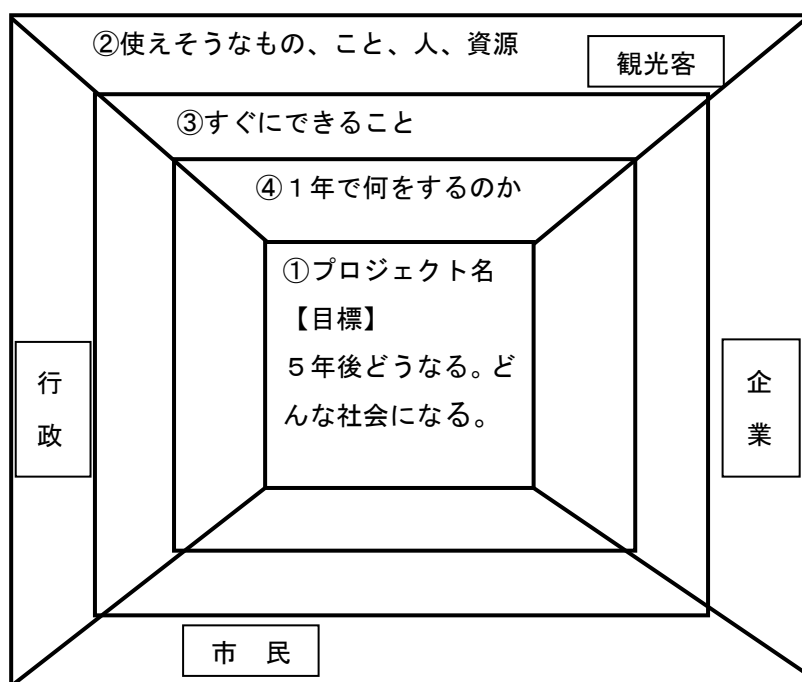
(座長)

- ・今回大事なのは、上天草市に来てもらう、住んでもらう、働いてもらう、に皆さんの班で考えていただくことがどう繋がっていくのかというのを四面会議で議論してもらいたい。今から皆さんに簡単なリポートをしてもらいます。通常ステークホルダーと言うが、それぞれ4人の役者になりきってもらい、各立場から共通の目標に向けて考えていただきます。中心には皆さんが掲げている目標及びプロジェクト名を書き、各取組みを行うことでどのような世の中になるのかを書きます。2番目は一番外の枠で皆さんが何になるかというのを書きます。行政、市民、企業、観光客等皆さんがやりたいことに関係するステークホルダーを作り、それぞれの立場に立って使えそうな資源、物、リソースを書いてください。3番目はこれをどういう方針や気持ちでプロジェクトに結び付けていくか。4番目は最初の1年で何をやるのか。最終的に5年後の目標に結び付くかを考えてください。それぞれのステークホルダーを具体的に考えることでより戦略に繋がたい。必ずしも今回の計画が全て(総合戦略に)反映されるかはわからないが、一部できそうな考えもあるので、そういうのはどんどんやっていっていいと思う。

四面会議のシート作成イメージ

(プロジェクト名) ○○○・・・

(サブタイトル) ○○○・・・



(座長)

- ・ それでは、各班から発表をお願いしたい。まず6班から

(6班)

- ・ プロジェクト名は「国際おもてなし教室」でキャッチコピーは「VISIT JAPAN いや こけ住んで Good Ningt (くっどない)」です。5年後の目標としては、外国人の移住者を多くして、外国人旅行者の受け入れができる人材を増やし、更にそれをすることによって、上天草市の発信力を向上させる。あとは、空き家の未使用率をダウンさせる。行政面は、国内の移住者に対する行政支援がうまく提供できていない。ただ、そういう人達を受け入れる空き家はどんどん増えてきており、島の文化や景観は日本の中でも特徴的な部分がある。労働力の部分では、若い人が少なくなっただといえ、将来的に産業ができれば労働力は有り余っている。企業的な視点で見ると、海外売り出しのルートや商品企画力もある。しかし、上天草市の魅力が感じられないと思うので、なかなか難しいと思われる。外国人はこのプロジェクトでは核になってくるが、言語力もあり、日本の文化に興味があり、日本にはないスキルを持っている人がいるかもしれない。すぐできるところはなかなか難しいのですが、行政が核になってもう一度空き家情報や観光情報の整理を行い、企業の協力も得て外国人の思考に合わせた情報をピックアップすることはできるかなと。1年後はテスト販売やテスト居住等ができればと思っている。

(座長)

- ・ 宮崎県の小林市が何弁かわからないけど、フランス語に聞こえる PV を作っていますよね。ああいう PV とかいいなと思うので是非。外国人の先生が上天草弁で「こけ住んでくっどない」みたいなのがあればいいなと。次5班お願いします。

(5班)

- ・ 前回会議に出席した人が1名しかいなくて、いろんな妄想を膨らませて考えた。タイトル「上天草海道プロジェクト」ということで、キャッチフレーズとして「そうだ。上天草に行こう！漬物を食べに（上天草市の漬け物は塩づくりから）」ということで考えました。最終的な5年後の目標としては、廃校を利用した漬物工場ができ、五橋漬け物が特産品となっているとしました。ここで雇用を10名創出し、漬け物を使った食育が行われることを想定しています。いろいろな立場から考えてすぐにできるという部分で人材を確保するというのが出てきたので、行政、企業、市民の立場から人材を創出して始めていったらどうかという案がで

ました。

(座長)

- ・ちなみにステークホルダーはどんな設定をしたのか。

(5班)

- ・行政、企業、市民、観光客の4つの立場で考えています。あと、天草と漬け物がなかなか結び付かないというのがあって、海の特産品を使った漬け物作りをやってみてはどうかという意見が出ました。

(座長)

- ・この班はですね、前回の出席者が1人という割にはすごく楽しそうにやっておられて、いいなと思ったのは観光というのを正面で捉えてなくて、食育が出たりそういうのが良かったと思う。前回熱い方がいたけど、その方がいなくてもうまく引き継がれていた。本来、行政の皆さんの仕事ってこういうことなんじゃないかなと。仕事の引継ぎがうまくできなくても想像力を膨らませてどんどん引き継げるはずなんですね。これが行政マンのひとつの資質だと思いますので、今回はすごくいいチームになったなと感じました。では4班いきましょう。

(4班)

- ・名前が「いのししハンティング特区」～あなたもハンター、モンスターハンターとコラボ～ということで考えました。目的がイノシシの数を減らして市民や農家の方々が喜ぶということからスタートしています。4つのステークホルダーは、行政、市民（農業者）、企業、観光客としました。まず、規制緩和のための情報を集め、猟師や危害を被っている市民のつなぎ役になることを目標に、行政が何でもするという事ではなく、そういう所を目指していきたいという立場を目指していく。捕るのは企業となり、捕った後は、市民がいろんな物を作って売るという意見が出ました。猟師は、高齢化が進んでいるので、狩猟免許を取得できる年齢を20歳から18歳に年齢引き下げ、高校生に対しても、アピールして、銃を撃てるという所まで持っていければ、外国人も客として来場いただけると思っています。上天草市に来ていただける外国人の方は、中国人や韓国人が多いですが、あまりハンティングのイメージがないと思われるが、どこの国や地域の人を対象とするかまでは定まっていない所です。以上です。

(座長)

- ・ありがとうございます。元々四面会議というのはビジネス会議をする時によく使う手法です。4班の取り組み方はすごく理にかなっており、本来の目的ではないところもやって大丈夫と思います。じゃあ、3班お願

いします。

(3班)

- ・3 班です。上天草ひつつくプロジェクトで、田舎の生産者と都会のシェフを繋ぐシステム構築という所で副題としました。5年後の目標は一次産業者の所得アップ、担い手の育成及び確保。3に、上天草ファンの拡大、5年後に観光客の増加を挙げております。ステーキホルダーは、生産者、バイヤー及び飲食店のシェフ、仲介事業者、行政としました。生産者は1年後にできることとして、年間を通して安定的な出荷、1年後辺りは生産量、生産の種類の拡大を続けて行う。仲介業者は生産者の指導、シェフのニーズを把握した営業活動を行いながら、そのニーズを生産者に伝える活動を進めていく。1年後はこのシステムを構築する。シェフがすぐできることは、上天草の食材を1つでも多く使っていただき、それを消費者に提供し、それが定着してくれば、上天草全体のフェアを東京、大阪で大々的に開催する。行政は、助成の活動やPR活動、人的支援という所で、最終的にはこのまち・ひと・しごとの交付金を活用した助成を行いという所で考えました。これがもし行けば、数年後には一人暮らしの高齢者にもタブレットを持っていいただき、上天草の食材を買うことが可能となり、さらには一人暮らしの方の安否確認もできるようになるという所で、目標の話ができました。

(座長)

- ・料理の鉄人を上天草市でやってもらう、みたいな。若い料理人に上天草で活きの良い材料を使ってもらって、それを都市部に広めてもらうというのも大事だが、「呼び込む」という事がまち・ひと・しごとではすごく大事なので、ネットを介して広めると共に、何かしらを上天草市に持ち込まないといけないと、ひつつくというのはすごく良いアイディアだなと思います。じゃあ2班お願いします。

(2班)

- ・2 班では26島わたりプロジェクト、裸足で感じる上天草というキャッチフレーズで、前島には26の無人島があり、無人島をステージとした観光開発、観光資源等を活用した観光ができないか考えました。26の無人島一つ一つにそれぞれの観光施設、ホテル、アウトドアのキャンプ施設やサテライトオフィスを造ったり、イベント的な島婚をやったり、ミュージックフェスをやったり、それぞれの島に特色を持たせた観光の開発ができればと思います。ステーキホルダーは、市民、企業、観光客、行政とし、企業は、マリンスポーツや船舶会社、観光事業者が進出して、島を開発する。市民は、無人島を活用した無人島体験サバイバルキャン

ブを小中学校に取り入れ、市民の機運を高める活動ができればと思います。行政は、前島が雲仙・天草国立公園の指定区域なので、特区申請や国立公園の規制緩和、企業留置等を行う。5年後の目的として、無人島を利用する観光客が増加すること、無人島に定住したり、別荘を造ったりして、最終的に人が外から入ってくる施策になればと思います。

(座長)

- ・無人島というハンディキャップを強みに変えようとされてるのが良い。やや矛盾を感じるのが無人島に住んだら、無人島じゃなくなるので、無人島に着きやすい所に住んでももらわないと意味がなくなってしまう。なるべく建物は造らない方がいい。漁業をもっと使った方が良く思う。養殖や簡単な漁業を体験することを盛り込む。あとは企業として南阿蘇村のモンベルさんと提携していますけど、シーカヤックをもっと使うとかミズノとかの企業とのコラボとかもありだと思います。

(1班)

- ・1班です。交通渋滞が激しいという事で、JRを延伸させて駅を造る。観光バスや観光船を使って客を呼び込みましょうという所で話が終わってました。まず、事業名としましては、スマートアクセスプロジェクトとしました。内容としては、交通アクセスの充実、5年後の目標は渋滞知らずの町、選べる交通網を造りましょうと話を進めました。ステークホルダーは、観光客、企業、市民、行政の立場とし、最初は活用されていない栈橋と架道橋、待合室の活用、定期船やJR、飛行機を絡めたパッケージツアーを作り、行政側では、補助金の交付や誘致を進めてみてはとかいうのがあり、観光客は、公共交通の利用ではクーポン券を発行したら利用しやすくなるとなりましたが、1年や2年で渋滞が無くなるわけがないという事になり、逆に渋滞を楽しむツアーを作ってみてはということになりました。観光客としては、お座敷バスや屋形船、A列車にちなんだAバスや観光客船等を活用して、何か楽しめたらいいじゃないかなと。インフラ整備や幹線道路は後々、観光客が来るようになってから、国や県辺りの整備が進んでいくのであろうという事で、渋滞を楽しむツアーを逆に実施したらという事で、プロジェクト名と3タイトル、キャッチフレーズが合っていませんが、渋滞なんかこわくないという事になりました。

(座長)

- ・今日のアイデア賞は1班だと思います。渋滞を恐れるのじゃなくて、渋滞を楽しむような事ですね。発想の逆転というか、要はみんなでバス乗って渋滞の中、酒飲みながら来ればいいわけですよ。船で渋滞して

る人を見ながら、酒飲んで来れば優雅ですよ。そういう上天草を目指そうという事なので、本当に良いアイデアだと思います。最初動かなかったけど、5年後動き始めるのは発想の転換です。上天草にはあるという事をアピールするのがいかに大事かということだと思います。

- ・最後にいつもの振り返りアンケートを記載してください。今日でワークショップは終わりとなります。わずか3回の会議で、こんな素敵なアイデアは出ないと思います。あとはこれを文字に書き起こしたら、計画はできるので、大事なのはこういうビジネスモデルを考えるのは他人事ではなく、自分事であり、上天草の未来に関わっています。次회가11月26日（木）です。12月で最後になります。

（事務局）

- ・本日はお疲れ様です。今振り返りアンケートを書いていただいておりますので、それを書かれたら、机の上一つにまとめていただいて、その場で解散としたいと思います。どうもお世話になりました。ありがとうございます。

第3回上天草市まち・ひと・しごと創生推進会議 出席状況

(五十音順、敬称略)

氏名	所属等	出席
石炭 圭一郎	上天草市建設部建設課 係長	○
入口 絃光	上天草市経済振興部観光おもてなし課 参事	○
岩崎 敏治	株式会社隆勢 代表取締役	○
岩原 慎一郎	株式会社肥後銀行大矢野支店 支店長	○
大野 公二郎	上天草市総務企画部総務課 係長	○
片島 荷風	デザイナー	○
北垣 洋	北垣水産	○
木下 榮	上天草市セカンドライフ支援ネットワーク 会長	○
迫本 潤一郎	上天草市経済振興部農林水産課 課長補佐	○
篠田 良	上天草市教育委員会事務局教育部社会教育課 係長	
杉本 健一	一般社団法人天草四郎観光協会 事務局長	
園田 健吾	上天草市総務企画部総務課 主幹	○
田口 英明	上天草市教育委員会 教育指導員	○
田中 尚人	熊本大学政策創造研究教育センター 准教授	○
田中 道範	上天草市社会教育委員長	○
寺中 寛人	上天草市経済振興部産業雇用創出課 参事	○
永野 富子	上天草市健康福祉部健康づくり推進課 係長	○
西川 みち恵	社会福祉法人上天草市社会福祉協議会地域福祉課 課長	○
西原 一雄	上天草市建設部都市整備課 参事	○
一 喜美男	熊本県天草広域本部 総務部長	
濱田 真和	株式会社マルマサ浜田鮮魚 取締役	○
濱崎 富雄	上天草市教育委員会 中央公民館長兼市立図書館長	○
深谷 恵了	姫戸ひかり保育園 副園長、寺院僧侶	
益田 佳世	上天草市健康福祉部福祉課 係長	
松本 俊博	熊本県立上天草高等学校 教頭	○
宮内 勝幸	あまくさ農業協同組合大矢野統括支所 指導販売課長	
森 隼人	上天草市健康福祉部高齢者ふれあい課 参事	
矢田 健一郎	株式会社熊本銀行大矢野支店 支店長	○
吉野 誠	上天草市市民生活部環境衛生課 主事	○
吉本 博明	上天草市市民生活部税務課 主幹	○
渡邊 一成	天草信用金庫企業業務部・地域創生室 理事部長	